

# 校長室通信

2024年11月18日

## 「奇跡は偶然ではなく必然から生まれる」

校長 伊奈 和彦

放課後や休日、グラウンドや体育館、武道場、弓道場、教室などでは、生徒たちが部活動に打ち込む姿が見られます。そんな様子を見ていると羨ましくなります。私は、随分前ですが、女子ソフトボール部の監督をしていました。様々な思い出が蘇ってきますが、その中から一つのエピソードを紹介します。

当時その学校のソフトボール部は部員が少なく、控え選手が二~三人しかいない状況でした。ある時、部内でもめ事が起こり、部の存続が危うくなる事態となりました。私は部員一人一人に今後どうしていきたいのかを尋ねました。何人かの部員が退部すると言い出しました。退部者が数人出ればチームが成り立たず試合に出られません。最後にA美に聞く番になりました。A美は中学時代にはソフトボール未経験で、正直に言って上手いとは言えず非力な生徒です。その彼女が口を開きました。「私は下手だけどソフトボールが好き。辞めたくない！」彼女の目から大粒の涙がこぼれました。しばらく沈黙が続いた後、キャプテンが「やっぱり廃部になるのは嫌。もう一度みんなで頑張ろうよ！」。この一言で部が続くことになりました。

『雨降って地固まる』のことわざ通り、今まで以上に練習に熱が入り、チームがまとまっていきました。そしてA美たちが三年生となり、春の市内大会を迎えました。惜しくも決勝には進めませんでした。三位決定戦に残ることができました。しかし、対戦相手は今まで勝ったことがないチーム。よく頑張りましたが0対2でとうとう最終回を迎えてしまいました。それでも何とか意地を見せてヒットとフォアボールで2アウト・二塁。次のバッターはA美でした。これまでほとんどヒットを打つことがなく、長打は望めません。万事休す。下級生でバッティングの良い選手がいたので、代打を出そうかとも考えましたが、その時ふとA美の涙を思い出しました。あの時、彼女がチームの危機を救った。彼女に託そう。そのまま打席に向かわせ、サインは「打て！」。2ストライクまで追い込まれ、あとが無い次の一球。A美が思い切り振ったバットがボールをとらえ、ボールはぐんぐん伸びて、何とセンターオーバー。一・二塁走者が生還し、打ったA美もホームへ。逆転サヨナラ3ランホームランでした。ベンチは大騒ぎ。満面の笑みのA美を迎えました。奇跡でした。

裏面もあるよ！  
読んでね！！



こうしてチームは三位となり、有終の美を飾ったのです。『奇跡』と書きましたが、それは失礼な言い方かもしれません。A美は部活を一日も休まず、毎日毎日素振りを繰り返すなど、面白くない基本練習を黙々とやり続けていたのです。『<sup>ほんじてってい</sup>凡事徹底』に努めた結果だと思います。

『<sup>ほんじてってい</sup>凡事徹底』とは、特別なことではなく、平凡なことを徹底してやり抜くという意味です。つまり、物事を成し遂げるには、当たり前前を当たり前前にできるか、徹底してできるかにかかっているということです。

今年の夏に開催されたパリオリンピックとパリパラリンピックでの選手たちの活躍を目にした人も多いと思います。今回も数々のドラマが生まれました。オリンピックといえば、私は8年前のリオデジャネイロ五輪を思い出します。皆さんはまだ小学生の頃だと思いますので、知らない人が多いかもしれませんね。最も私の心に残ったのは、体操男子個人総合での内村航平選手の活躍です。五輪2連覇、世界選手権を含めて8連覇がかかる試合。絶対王者と言われ、金メダルが確実視された内村選手でしたが、ウクライナのベルニャエフ選手との激闘が繰り広げられました。最後の鉄棒まで内村選手は負けており、得点差は絶望的な数字。ついに負ける時が来たのか？ しかし、内村選手は鉄棒で次々と高難度の大技を決め、最後は寸分動かぬ完璧な着地でした。私は感動して涙があふれてきました。結果は金メダル。何と演技中に腰を痛め、それでも完璧な演技をやり遂げたのです。奇跡の大逆転でした。内村選手はこう言っています。「毎日同じ事を徹底的に繰り返した。自然に身体が動くようになっていた。練習だけを信じて試合に臨んだ。」まさに『<sup>ほんじてってい</sup>凡事徹底』。以前、内村選手の言葉を直接聞く機会がありました。体操をしている子どもたちに向けて「面白くないことを嫌がらずにどれだけ頑張って続けられるかが大事です。」とメッセージを贈っていました。天才と言われる選手であっても基本の繰り返し、地味な練習の積み重ねがあつてこそだと知らされました。

さて、皆さん美和高生はどうでしょうか？ 昨年三年生には『奇跡』の大逆転で進路を決めた人もいました。今年的美和高生にも期待しています。一・二年生は部活動や普段の学習で是非とも『<sup>ほんじてってい</sup>凡事徹底』を実践してください。三年生は共通テストが近づいてきましたが、自分を信じて希望する進路に向けて努力し続けてください。今回紹介したように、『奇跡』は偶然ではなく必然から生まれます。誰にでも起こり得るのです。持てる力の全てを出し尽くしてください。私は応援することしかできませんが、精一杯応援します。皆さんの活躍を楽しみにしています。

美和高生！

期待してるよ～！！

